

HPLC-Chip/QTOF質量分析装置

(アジレント・テクノロジー社 G6520型)

と新規公開のエレクトロスプレーイオン源質量分析装置

【日時】 平成30年 5月28日 (月) 16:20～ (1時間半程度)

【場所】 岡山大学 コラボレーション・センター2階、講習室

H30年度より自然科学研究科棟4階で共同利用機器として公開した

- ・飛行時間型質量分析装置 (Bruker社 micrOTOF)
- ・イオントラップ型質量分析装置 (Bruker社HCT)

も併せて紹介します。いずれもLC/MSとしても使用可能なエレクトロスプレーイオン源を持つ質量分析装置で、試料や測定目的に応じた使い分けが必要です。QTOF自己測定をご希望の方は必ずお越し下さい。依頼分析ご希望の方も歓迎。

【装置概要】

質量分析法は、分子をイオン化し、その質量数とイオン強度を測定することにより、物質の構造確認や同定および定量を行う方法です。イオン化する分子であれば少量の試料 (1 mg以下、 μ Mオーダーの液体試料) で、信頼性のある分子量を精密に測定できます。試料中の物質が予想できる場合は、標品と比較することにより、その物質の推定・特定や定量が可能です。

【講師】 岡山大学自然生命科学研究支援センター 多田 宏子 教授

【申込方法】

下記まで、氏名、所属、身分 (学年)、連絡先アドレス、自己測定の為の現地講習希望の有無をご連絡下さい。
講習会後の利用相談も受け付けております。
(申込締切：5月24日 (木) までをお願いします。)

【HPLC-Chip/QTOF の自己測定資格について】

ESI-MSは修士学生以上、原則、修士学生は1研究室につき2名まで
(特別な事情がある場合はご相談下さい。)
LC/MSは博士課程 (または同等の研究経験を有する者) 以上
他の2装置は学年等での制限はありません。詳しくはお尋ねください。

【申込先】

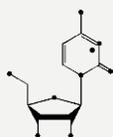
岡山大学 自然生命科学研究支援センター
分析計測・極低温部門、分析計測分野
コラボレーションセンター2階204号室 (職員室)
E-mail : kikibun@okayama-u.ac.jp
TEL : 086-251-8748
本件担当 : 塩川つぐみ



E-mail



Web



URL: <http://dia.kikibun.okayama-u.ac.jp/>